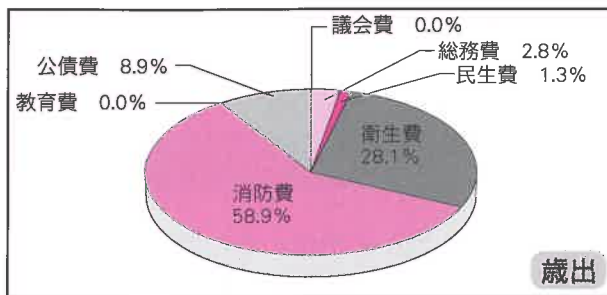
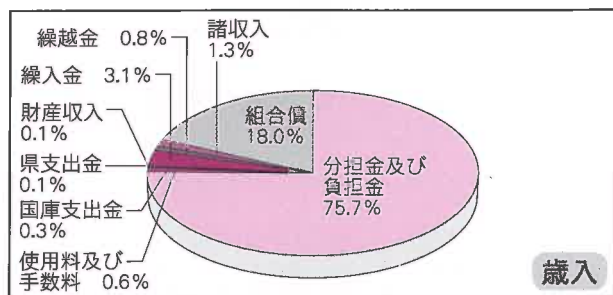


平成26年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計 決算の概要

平成26年度の鳥取県西部広域行政管理組合一般会計の決算は、歳入総額が68億5,059万円、歳出総額が67億8,889万円となり、歳入から歳出を差し引いた6,170万円は翌年度に繰り越しました。



歳入区分	決算額
分担金及び負担金	51億8,641万円
使用料及び手数料	4,238万円
国庫支出金	2,201万円
県支出金	785万円
財産収入	396万円
繰入金	2億1,235万円
繰越金	5,425万円
諸収入	8,738万円
組合債	12億3,400万円
合計	68億5,059万円



市町村別の内訳は次のとおりです。

米子市	27億4,902万円
境港市	6億8,200万円
日吉津村	1億1,633万円
大山町	4億9,549万円
南部町	3億5,027万円
伯耆町	3億5,981万円
日南町	1億8,013万円
日野町	1億3,060万円
江府町	1億2,276万円

歳出区分	決算額
議会費	62万円
総務費	1億9,314万円
民生費	8,477万円
衛生費	19億1,043万円
消防費	39億9,687万円
教育費	23万円
公債費	6億283万円
合計	67億8,889万円

※表中の決算額は万円単位で四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

鳥取県西部広域行政管理組合事務局総務課
☎0859-22-7732

平成27年の交通事故発生状況

	平成27年	平成26年	増減数
発生件数	1,053件	1,168件	△115件
死亡事故数	34件	31件	+ 3件
死者数	38人	34人	+ 4人
負傷者数	1,250人	1,396人	△146人

平成27年の県内交通事故による死者数は38人と2年連続して増加しています。全死者38人中、高齢者の死者は21人、また高齢者が第一当事者となる死亡事故も高い割合を占めており、高齢者の被害防止・加害防止両面からの交通事故防止が依然として大きな課題です。

高齢者の死亡事故が増加しています

また、前照灯をこまめに切り替えてハイビームを活用して、交差点や横断歩道付近の安全確認と減速・徐行による歩行者保護を徹底しましょう。

●歩行者・自転車の方は、夕暮れ時や夜間の外出時には、反射材用品を身につけましょう。自転車の方は必ずライトをつけましょう。

●道路を横断する際は左右の安全を十分確認しましょう。

高齢者の方は、運転時は高齢運転車マークを表示して安全運転に努めるとともに、体調がすぐれないときは運転を控えましょう。

●ドライパーは、スピードを控えた運転に努め、日没30分前には前照灯を点灯しましょう。

